

①-2-1

第1号の1様式

3 杉下子第22号  
令和4年3月16日

杉並区教育委員会 宛

子供園名 杉並区立下高井戸子供園

子供園長氏名 五十嵐 美緒子 印

令和4年度教育課程について (届)

このことについて、杉並区立子供園の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり

お届けします。

記

## 1 教育目標

### (1) 子供園の教育目標

人権尊重の精神に基づき、多様な生活経験を通して互いを尊重する心や規範意識の芽生えと豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培うため、次の幼児像を掲げて教育を推進する。

○自分で考えて行動する子    ◎自分も人も大切にすること    ○心身ともに健やかな子

### (2) 子供園の教育目標を達成するための基本方針

ア 身近な環境に主体的に関わり、試行錯誤を繰り返しながら、知的好奇心や思考力の芽生えを培い、自分で考えて行動する幼児を育てる。

イ すべての幼児が学級の一員として安心して過ごし、違いを認め合い、共に学び合う学級づくりを進める中で、保護者や関係諸機関との連携を深めることも含めた特別支援教育を充実させ、自分も人も大切にすることする幼児を育てる。

ウ 心も体も弾む体験を積み重ね、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむとともに、健康で安全な生活を自ら作り出していくことができる幼児を育てる。

エ 仲間と協同して主体的に活動に取り組む経験を重ね、幼児が自信をもって活動に取り組むことができるようにし、小学校以降の生活や学習の基盤を培う。

### (3) 特色ある教育活動

ア 小学校教育への滑らかな接続のために、高井戸第三小学校や近隣保育園と連携し、合同研修や交流活動等を通して、職員間での相互理解と児童・幼児のつながりを深める。高井戸第三小学校との合同研究により、幼保小連携教育を推進する。

①-2-1

第1号の2様式

子供園名 杉並区立下高井戸子供園

## 2 指導の重点

### (1) 教育課程編成、実施に関わる指導の重点

遊びの充実を図り、自分で考えて行動し、自分も人も大切にすることする幼児を育成する。

#### ア 3歳児

- ・基本的な生活習慣を身に付け、一人ひとりの幼児が安心して過ごせるようにする。
- ・自分のしたい遊びを見つけて遊ぶ楽しさを味わえるようにする。

#### イ 4歳児

- ・保育者や友達と過ごす喜びを感じ、感じたことや考えたことをのびのびと表現したり、興味・関心を深めながら遊ぶ楽しさを味わったりする。
- ・園生活に必要な習慣や態度を身に付けるようにする。

#### ウ 5歳児

- ・友達と共通の目的をもち、考えを出し合ったり協力したりしながら、学級の友達とのつながりを感じ、遊びや生活を進める充実感、達成感を味わえるようにする。

### (2) 環境の構成

ア 幼児が思いや考えを表現したり他の考えを受け止めたりする機会を意図的、計画的に取り入れ、保育者も含めた他者との対話的な関わりを十分に経験できるようにする。

イ 幼児が自ら選んで環境に関わり、遊びを展開していく楽しさを味わえるよう、保育室や園庭等の環境をいつでも見直し、幼児の実態に応じたものとなるようにする。

ウ 学級や園全体での他児との共通体験が、個々あるいは友達との遊びに生かされたり、個々の遊びから学級全体の活動に展開したりする遊びの往還を進める。

エ 幼児が実体験を通して、食や健康に興味・関心をもてるよう、栄養士や調理職員、看護師と連携して、食や健康に関わる環境を計画的に構成し、実践につなげる。

オ ICT 機器ならではの使い方や効果を生かし、幼児の直接的な体験をさらに豊かにするための補完として活用を図る。

カ 幼児一人ひとりが安定した心持ちで園生活を送ることができるよう、学級担任を始め、様々な職員が幼児理解を深め、組織的に幼児の育成を支える。

### (3) 特に重点を置いて指導する内容等

#### ア 安全教育

○学校安全計画を基に、幼児自身が安全や健康に気を付けて行動しようとする意識をもてるようにする。幼児の心身の状態を丁寧に読み取り、幼児の安全に考慮した生活の流れや活動の進め方を実践する。園生活における感染防止対策に、幼児自身が必要性を感じて取り組めるよう、環境の工夫と指導を徹底する。

#### イ 特別支援教育

○特別支援教育コーディネーターを中心として、家庭や関係諸機関と連携し、幼児理解を深め、一人ひとりに応じた環境の工夫と援助を実践する。月一回の園内委員会を通して、幼児の具体的な姿から環境・援助の在り方を見直し、全職員で共有して、幼児が育ち合う学級づくりを進める。

#### ウ その他

○保育参観、個人面談等を通して具体的な幼児の姿から育ちや課題を保護者と共有するとともに、全職員が連携して保護者との信頼関係を深め、子育て支援を推進する。